

## ローマ法王平和アピール碑

〔地図番号54〕

## 建立年月日

1983（昭和58）年2月25日

## 建立者

ローマ法王平和アピール碑建立委員会  
 ※ 現在、日本のカトリック教会では「ローマ教皇」に名称を統一して使用しています。

## 制作者

くえたにいっとう  
 杭谷一東（イタリア在住、広島県出身）



## 形状

イタリアのカラーラ産白色大理石に、ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世の行った「平和アピール」の中から選ばれた一節が、和英両文で刻まれている。碑は2枚の石を三角柱のように合わせ、上部の抽象彫刻像は、世界中が肩を寄せ合って調和と安定、共存を未来へ向けて志向する状態を表し、人類の平和への願いが込められている。（高さ3m、幅1.8m、奥行き0.9m）

## 建立の目的

ローマ教皇の「平和アピール」を造形して平和祈念の一つのよりどころにするため。

## 碑文（英文併記）

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命を奪います。戦争は死そのものです。過去を振り返ることは、将来に対する責任をになうことです。ヒロシマを考えることは、核戦争を拒否することです。ヒロシマを考えることは、平和に対して責任を取ることです。」

## 特記事項

## ○ローマ教皇の広島訪問と「平和アピール」

1981（昭和56）年2月25日、平和記念公園で開催された歓迎の集いにおいて、ヨハネ・パウロ二世が原爆死没者慰霊碑前で核兵器廃絶を訴えた「平和アピール」は、全世界の人々に多大の感銘を与えました。これを造形して平和祈念の一つのよりどころにしようと、被爆者の藤枝良枝さん<sup>ふじえだよしえ</sup>などから声上がり、同記念碑建立委員会が結成され、「平和アピール」から2年後の1983（昭和58）年2月25日、広島平和記念館1階ロビーで除幕式が行われました。

## ○ローマ教皇 二度目の広島訪問

2019（令和元）年11月24日、ローマ教皇フランシスコが平和記念公園を訪問し、「平和のための集い」に参加しました。集いでは原爆死没者慰霊碑に献花した後、被爆者の体験を聴き、平和へ向けたスピーチを行いました。このときに記されたメッセージと贈られた燭台・キャンドルが広島平和記念資料館東館1階に展示されています。